

国内のトライアル競技の発展に貢献

**成田 省造氏が「スポーツ功労者」として顕彰されました!!**



公益財団法人日本プロスポーツ協会 提供

1 月 29 日(水)に開催された「第 54 回内閣総理大臣杯 日本プロスポーツ大賞授与式典」(主催：公益財団法人日本プロスポーツ協会)において、成田省造氏がモーターサイクルスポーツの普及振興に尽力されたとして文部科学省スポーツ庁の「2024 年度スポーツ功労者」として選出され、スポーツ庁の室伏広治長官から顕彰状が授与されました。

成田氏は「顕彰され、とてもうれしく感謝しています。ただし、この顕彰は私個人ではなく同じ志を持ってこれまで共に活動してきた仲間をはじめ、選手やチーム、競技役員、応援してくれる観客すべてのトライアル関係者にいただいたものだと思っています。これからもトライアルの発展に尽力していきたいと思っています」と喜びを表しました。なお、2024 年度スポーツ功労者は他に、モータースポーツ界から勝田照夫氏、増岡 浩氏、元力士の中山浩一(琴風)氏、元卓球選手の水谷 準氏、プロボウラーの姫路 麗氏が顕彰されています。

▶「スポーツ功労賞」とは 世界的規模のスポーツ競技会において優れた成果を挙げた方や、多年にわたりスポーツの向上発展に貢献するなど、日本のスポーツの振興に貢献した人物を文部科学省スポーツ庁が顕彰するものです。

**【成田省造】**日本のトライアル競技を形成し、牽引した一人。トライアル創成時代には大会に出場する傍らホンダの講師として日本各地を訪れ安全運転の啓蒙と、トライアルおよびモーターサイクルスポーツの普及活動に励み、第一次トライアルブームを起こした。また SSDT 出場の経験を活かしてイーハートブトライアル大会を岩手県の北部にて開催。地元の人々との協力もおおげ、町・村おこしにもつなげた。なお、これを手本としたツーリングトライアルが各地で広がり、同様に開催地域の町・村おこしに一役をかつている。また、後進の育成にも力を入れ、自身の長男・匠氏は世界選手権において日本人初の 3 位表彰台を獲得するまでに育て上げた。古希を過ぎてもトライアルのシニア大会に出場し、自ら体現しながら男女問わず幅広い世代にトライアルやモータースポーツの魅力を伝えるとともに、その技術を後進に伝えている。

このリリースに関するお問い合わせは

一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

〒104-0045 東京都中央区築地 3-11-6 築地スクエアビル 10 F

TEL: 03-5565-0900 / email: [mfj@mfj.or.jp](mailto:mfj@mfj.or.jp)